

カンボジアにおける災害リスクマネージメントの現状

The Current Situation of DRM in Cambodia

ソット キムコルモニー 国家災害管理局 トレーニング部副部長



目次

- 1.国家災害管理委員会の組織
- 2.カンボジアの災害
- 3.カンボジアの災害リスク
- 4.災害によるリスク軽減に向けた国家戦略計画



1.国家災害管理委員会の組織



1-1-1国家災害管理委員会

国家災害管理委員会の構成員:

- 1.首相
- 2.名誉役員(1人)
- 3.名誉役員(1人)
- 4.内務大臣
- 5.国防大臣
- 6.内閣担当大臣
- 7. 経済金融大臣
- 8.外務大臣
- 9.環境大臣

委員長 第1副委員長 第2副委員長 副委員長 副委員長 メンバー メンバー メンバー メンバー



10.水資源·灌漑·気象大臣

11.農業·林業·水産業大臣

12. 商務大臣

13.保健相大臣

14.農村開発大臣

15.工業・鉱山・エネルギー大臣

16.厚生大臣

17.公共交通大臣

18. 文部大臣

19.女性大臣

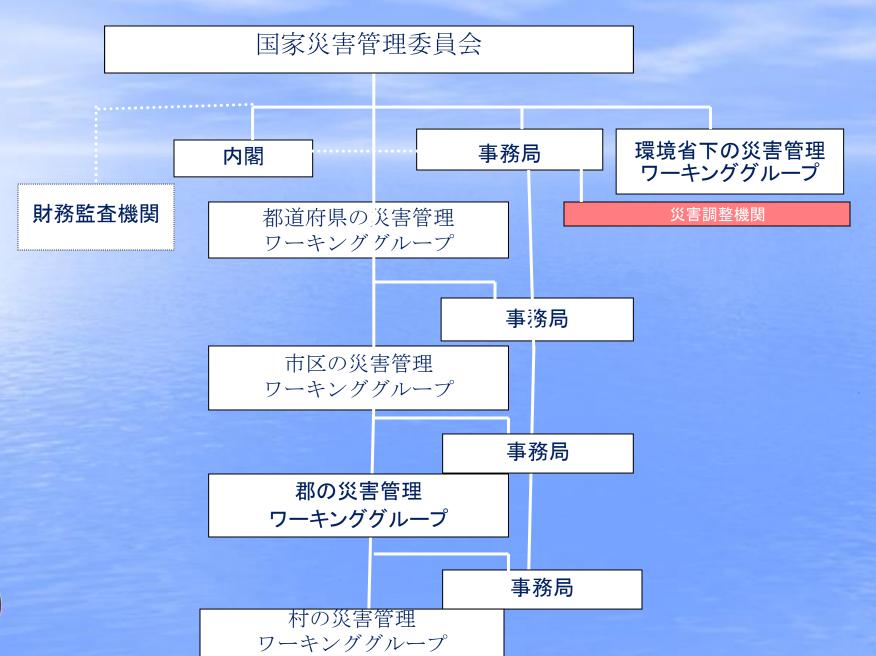
20. 軍事司令官の代表

21.カンボジア赤十字代表

22. 航空事務局の書記官

メンバー

国家災害管理委員会の組織図





ミッション

カンボジア王国における災害管理業務を管理・監督すること。



役割と責任

- 1. 災害に関するデータを集計、調査、監査、分析・評価して、災害の状況に関する報告書を準備作成し、中央政府が災害管理対策や通達などの対応を取れるように、提出・提言すること。
- 2. 災害管理業務がスムーズに実施できるよう、また、自然災害及び人災の被害者を救援するため、人的・物的資源(例:財務予算、設備、機材、燃料、使用方法及び人材)を必要とする提案書を中央政府に提出する。
- 3.技術・技能・知識の面で、国家レベル、関係省庁、首都、州、都市、市、地区、郡、村における災害管理の技術担当職員向けのトレーニングを通じて人材育成を行い、そして、自然災害と人災の危険性の認識が広がるように、一般の市民や地方村向けの教育を行う。



役割と責任 (続き)

- 4. 自然災害や人による災害のリスクの事前対策、防止対策、軽減活動など災害管理業務に関する国家対策を実行するため、政府関係省庁、国連機関、非政府機関、及び寛大な人々と協力しすること。
- 5. 災害による被害を軽減できるよう、国家、地方レベルの協力・調整・コミュニケーションを行い、災害状態・状況に関する情報をお互いに共有すること。
- 6・自然災害によるダメージから復興又は、救援するため、政府関係省庁、国連機関、非政府機関、国際ドナー及び寛大な人々との協力・調整役を果たし、予算を確保すること。



1-1-2NCDMの総務局の組織図



1-1-3.首都・州レベルの組織図

首都・州の災害管理委員会

首都 • 州知事

委員長

首都 • 州副知事

副委員長

総務局

事務局長 常設書記官

捜索・警備チーム

副知事1名

チームリーダー

保健・衛生と

清潔水チーム

副知事1名

チームリーダー

情報管理チーム

副知事1名

チームリーダー

緊急救援対応チーム

副知事1名

チームリーダー

1-1-4.市・地区レベルの組織図

市・地区の災害管理委員会

市長•地区長

委員長

副市長・副地区長

副委員長

総務局

事務局長

常設書記官

検索及び警備チーム

副市長・副区長1名

保健・衛生及び

清潔水チーム

副市長・副区長1名

情報管理チーム

副市長・副区長1名

緊急救援・対応チーム

副市長・副区長1名

1-1-5郡レベルの災害管理委員会の組織図

構成員

1-郡長

委員長

2-第一副郡長

3-警察署長・郡事務局長

4-小学校の校長

5-郡の保健所長

6-郡の女性・子供担当コア人

7-カンボジア赤十字ボランティア

8-動物保健所のエージェント

9-郡の経験豊かな年配者

10-各村の村長

11-郡の秘書

副委員長

メンバー

メンバー

メンバー

メンバー

メンバー

メンバー

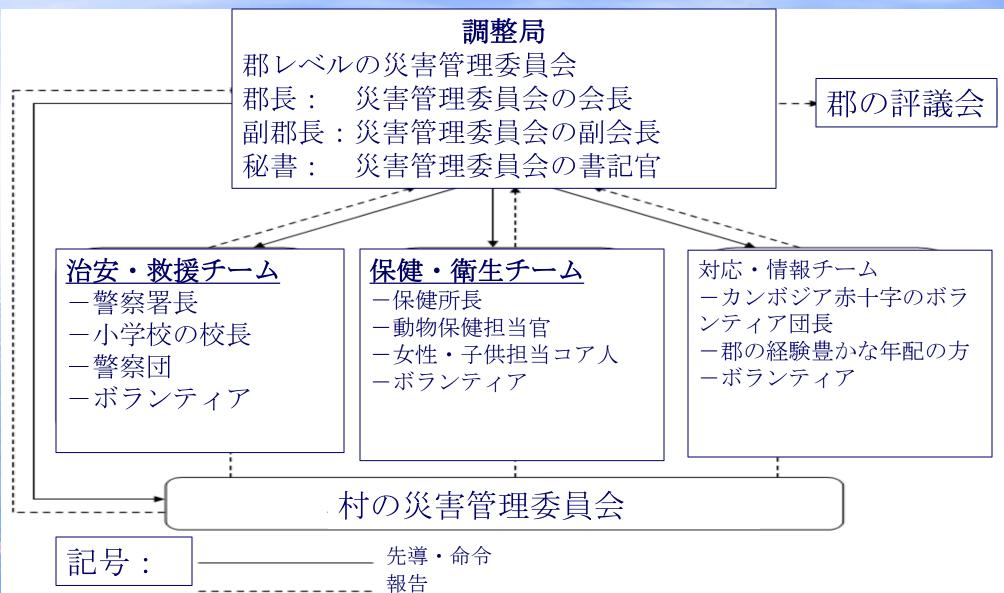
メンバー

メンバー

書記官



地方レベルの災害管理委員会の組織図 CBDRM



1-1-6.災害管理委員会

構成員

村長

委員長

• 村のアシスタント (女性)

副委員長

• 村の保健担当官

メンバー

• 村の動物の保健担当官

メンバー

カンボジア村の赤十字のボランティアチーム

メンバー

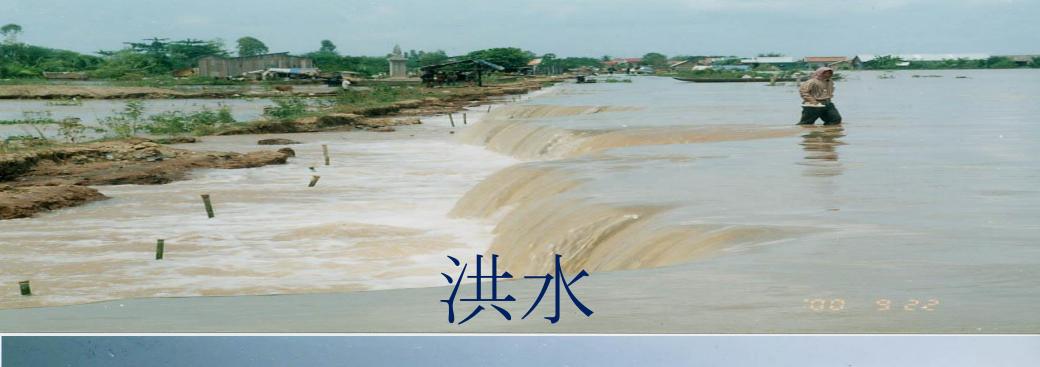
※他の二人は実際の村の状況に応じて決まる。



2-カンボジアにおける災害

災害が発生すると、国民・市民が稼ぎ蓄積した社会的・経済的豊かさに対する被害が生じ、ますます 貧困層が拡大し、国の発展にとって大きな損失である。





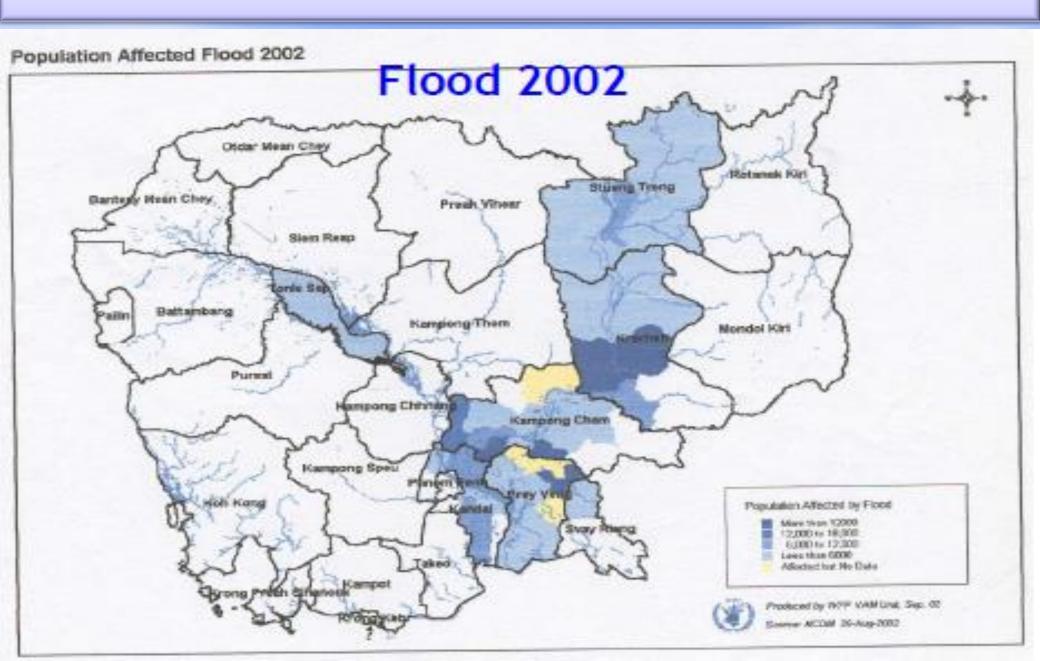
大洪水が1961年、66年、78年、84年、91年、96年、2000年、01年、02年、11年と最近の2013年に発生。



Severe flooding has occurred in 1961, 1966, 1978, 1984, 1991, 1996, 2000, 2001, 2002, 2011

and most recently in 2013

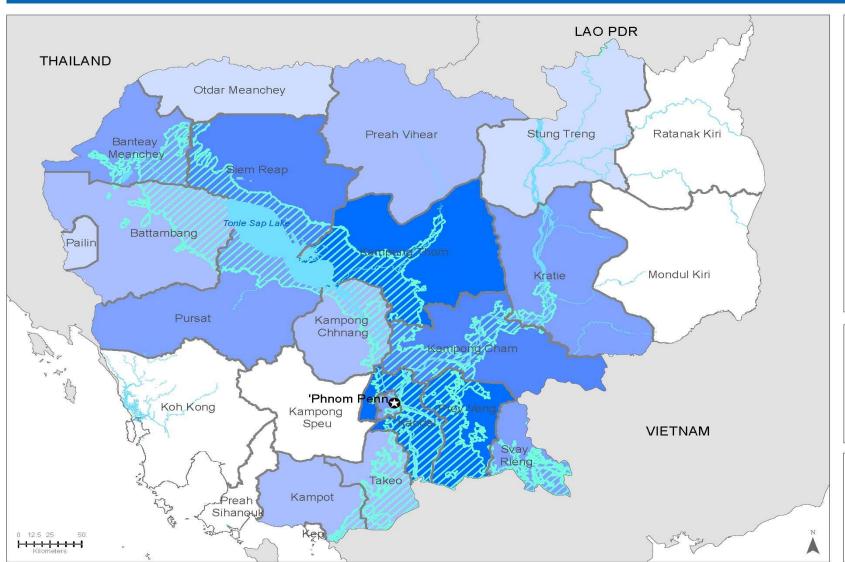
2002年の洪水地図



2011年洪水地図

CAMBODIA: Flooding (as of 27th October 2011)







Map Doc Name: AffPop_Cam_27102011 Creation Date: 27 October 2011 Web Resources:

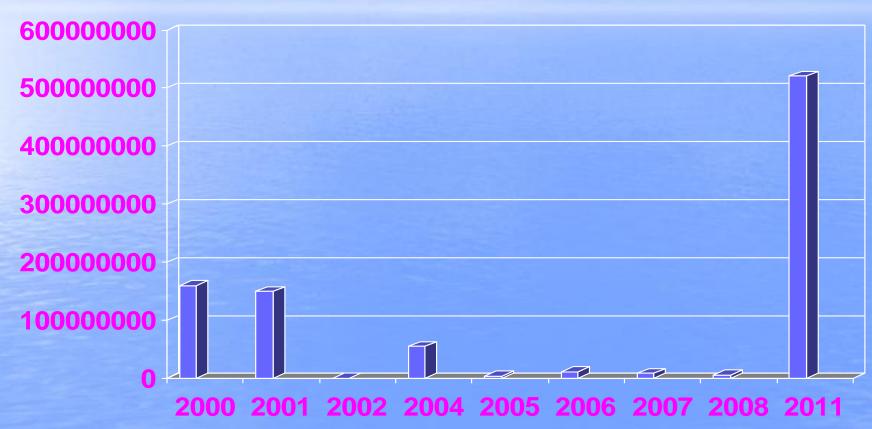
Map Data Source(s): NCDM, GAUL

Disclaimers: The designations employed and the presentation of material on this map do not imply the expression of any opinion whatsoever on the part of the Secretariat of the United Nations concerning the legal status of any country, territory, city or area or of its authorities, or concerning the delimitation of its frontiers or boundaries.



2000-11年 洪水による経済損失

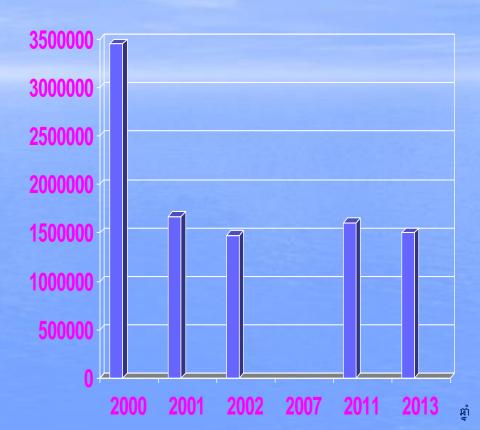








2000-13年の洪水による死亡者



人(数)

2000-13年の洪水による被害者

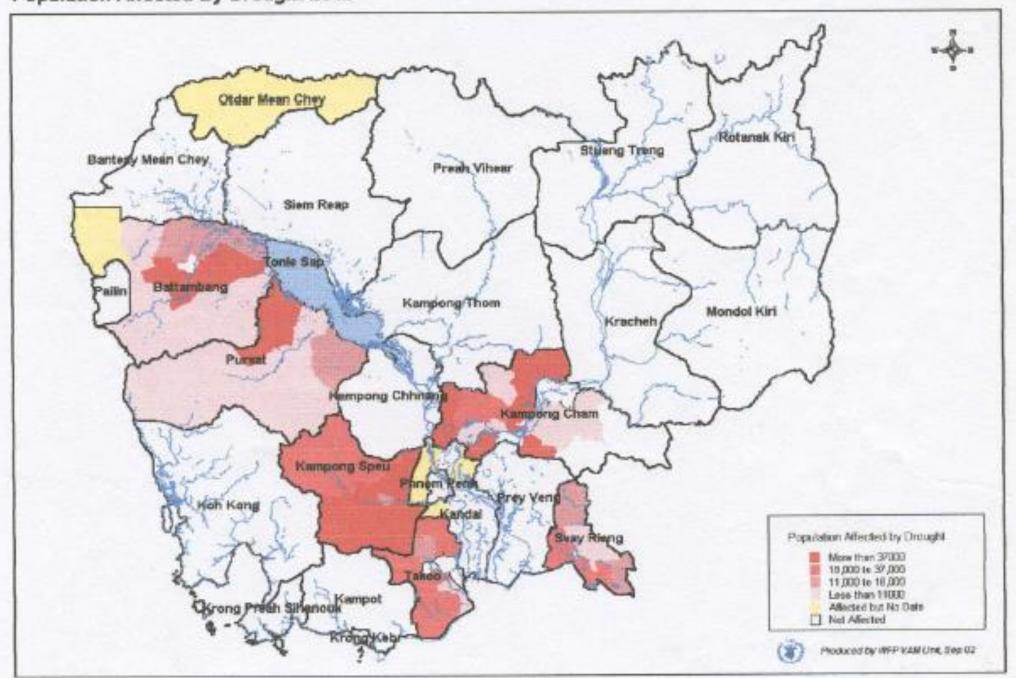




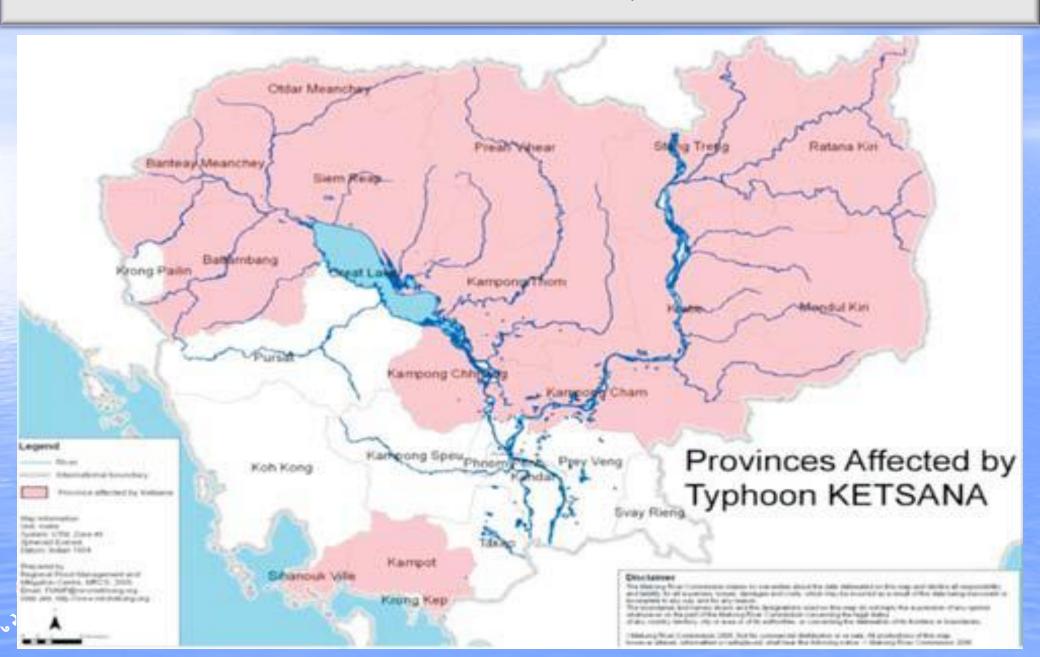


干ばつは1997年、98年、2001年、02年、04年及び05年まで 断続的に発生。

Population Affected By Drought 2002



ケットサーナ台風及び緊急な洪水







災害データ

camdi.ncdm.gov.kh



災害によるインパクト

- 21世紀開発目標を達成するための取り組みへのインパクト
- 公共予算の供給(収入と経費の不均衡、貿易赤字)へのインパクト
- ・ 政府の歳出の増加のインパクト(被害者、復興及び再整備の ため)
- 地方地域と生活へのインパクト(貧困)



災害による開発の進歩へのインパクト

- ・ 災害の後、被害者の救援及び社会復興と再整備に向け人材資源が 必要である。
- 社会開発の成果がダメージを負ったり崩壊する。
- 開発計画が障害に直面し、延期又は中止とならざるを得なくなる。
- 発展の継続性がなくなり、整備や復興などが何回も繰り返さなければならないため、資源と時間が無駄になる。
- 開発計画の有効性・価値が一部失われる。



カンボジアにおける災害

- 気候変動は非常に大きな脅威であり、悪化している。その影響で社会・経済及び社会の持続発展を支える大事な基盤である環境に大きなインパクトが生じる。
- 今まで経験したこともない自然災害は今、もう既に発生し、 過去数年間の間に世界各地を攻撃しているところである。また、それらの国々も災害と同じくリスクに直面している。つまりは、社会・経済発展に歯止めをかけ、人命及び生活へダメージを与え、結果として、国民・市民はますます貧困が進む。





▶ 自然災害・人災:洪水 干ばつ 台風 竜巻 雷 感染病 火事 交通事故

不発弾 飛行機の墜落など

脆弱率:農村では、90%

災害によるリスクの軽減と管理戦略

カンボジアでは、干ばつなど災害によるダメージが毎年生じて、脆弱な国 民・地方地域は貧困層から脱却できないと共に、自然災害を引き起こす気候変動 の脅威、世界中に広がるインフルエンザ及び鳥インフルエンザの脅威によって、 国家災害管理委員会は役割・責任がますます増加している状況に直面している。 そのため、国家災害管理委員会は災害による被害の軽減に向け都市の行動計画 HYOGO及び各関係省庁と協力して、有効な災害の管理システムの確立・災害の 予防策・災害の削減・災害の対応策及び復興策に向け戦略的なミッションの達成 実行に従って、自然災害に自ら対応できるよう、地方国民の先導に立って、取り 組む義務がある。

災害のリスク削減

Disaster Risk Reducation

組織的な取り組みによって、災害のリスク を軽減するものは、コンセプト・実行活動である。 その狙いは、危険対象物を減少することで、国 民の脆弱性・財産の被害及び環境への被害の 軽減につながり、新しい災害に対応できる事前 準備の改善を目指して、災害の貴重な原因・要 因を分析・管理することである。

災害リスク DISASTER RISK

危険対象物

危険対象物

リスクを受ける**脆弱性** リスクの脆 弱性





能力



災害削減へ向けた国家戦略の行動計画

ビジョン HYOGO計画(HFA)の行動 計画に従って、自然災害に対 応できる強い地方団体の確立



戦略的目標

1一災害管理システム強化

3 - 災害情報 管理システム 強化 2 一人材育 成と機関能 力向上 4 一災害の 予防・対応 能力強化

5-各層・各部署における政府の政策及び戦略に準じて、災害のリスク削減向け のコンセプトも含まれる。



優先順が高くなっているカンボジア災害リスクの 削減の構成

のが 削高 をな地

優

化の 災害の 中央 リスク管理の強 地方

報の提供を強化する。 監査及び管理し、事前情3・危険対象物を予測、

及 を /削減コ で の対 す

心 の

々

な

災害によるリスク管理の実行活動

地方地域の能力強化を目指すと共に、HYOGO行動計画に従う。

- 1.中央レベルでも、地方地域レベルでも、災害に対するリスク削減の優先順が一番高く設定される。
 - 1.1.DRRを支える法律及び政策を確立する。
- 1.2.中央レベルでの調整機能・仕組みを確立・強化し、又は災害によるリスク削減の国家イベントの確立
 - 1.3.災害によるリスクの削減活動と国家開発政策との統合
- 1.4.中央レベルでの災害によるリスクの削減に向け適切な人材を確保すること。



2.地方レベルでの災害によるリスク管理の強化

- 2.1.DRR の実行活動向け人材及び地方分権
- 2.2.地方地域レベルで災害リスクの削減向けイベントや行動活動を強化する。
- 3.災害リスクの予測・フォローアップ・チェック
 - 3.1.中央レベル及び地方レベルでリスク予測の指導・育成・ 先導
 - 3.2.災害情報管理システムの確立
 - 3.3.複数の危険対象物の事前警報システム
 - 3.4. DRR のための準備作業向け国際・地方との協力



4.知識・新しい発見及び教育を通じて、安全な文化及び対応可能な能力を確立へ

- 4.1.情報共有及び労働市場向けの仕組みの確立
- 4.2.DRRに関するトレーニング及び教育を強化すること
- 4.3.DRRの成分も含み、ジェンダー及び許しあう文化に関するトレーニングの強化
- 4.4.DRRに関して、科学的でかつ技術的研究の開始
- 4.5.一般認識の強化



5.災害によるリスクの削減活動と開発政策との統合

- 5.1.持続可能な環境及び自然資源の管理の中にDRRを導入する。
- 5.2.DRRと国家イベントとしての広げる活動と気候変動との統合
- 5.3.地方地域の対応可能な能力向上向け食料安全の強化
- 5.4.適切に組織的又は非組織的仕組みに従って、技術的なリスクを削減する。
- 5.5.保健分野にもDRRコンセプトを導入する
- 5.6.土地活用方法・様々な技術的なイベントの中にDRRコンセプトを導入する
- The second secon

.7.災害によるリスク対応向け財務諸表のテンプレートの作成



6.各レベルでの災害に対する有効な予防策・対応策の強化

- 6.1.中央及び地方レベルでの予防策・対策の準備・強化
- 6.2.一国の対応可能な能力を超えて、地域内の協力できる仕組みを確立する。
- 6.3. 突発的な事故及び災害に対する予防策の準備と現代化
- 6.4.緊急救援予算の確保





